

2013年 年頭所感 及び活動報告と今後の事業計画

発行：日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

ここに新たな2013年を迎えるにあたり、ご挨拶させていただくとともに、昨年一年間の活動報告並びに今後の事業計画に関して、ご案内申し上げます。

昨年は、9月に「セルフ Medikation フォーラム」を第53回人間ドック学会学術大会とタイアップ開催しました。そして、10月には生活習慣病薬である「エパデール」のスイッチOTC化が決定されるなど、画期的な年でありました。また、医薬品の通信・ネット販売につきましては、業界の統一見解をまとめ、より安全で、購入困難者の利便性も重視した現薬事法の改正案については、業界内外より高い評価を受けました。

さらに、調剤ポイント問題につきましては厚生労働省のクレジットカード・電子マネー禁止の結論は年度内にすると発表から、いまだ決着がつかないままですが、生活者にとっても業界にとっても保険制度にとっても、満足のゆく着地点が見出せることを期待しております。

突如起こった登録販売者試験の実務経験証明の不備・不正問題については、当協会は真摯に受け止め、「対策本部」を設置し、再発防止に乗り出しました。

しかし、改正薬事法の認知度アップやスイッチOTCの拡大にはまだ時間がかかります。JACDSは行政や他団体と協力して、国民の健康維持・増進に向けた活動を今年も積極的に行なっております。

私たちJACDSはこれからも、ドラッグストアが地域生活者にとって身近な「街の健康ステーション」として活用していただけるよう、懸命な努力や支援を続けてまいります。

報道関係の皆さまには引き続き、JACDSの活動に対し、ご協力並びにご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 年頭所感
2. 2012年の実施内容と今後の事業計画
3. 第13回ジャパンドラッグストアショー開催概要

本件に関するお問い合わせ先

日本チェーンドラッグストア協会 事務局

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 楓第2ビル4階

TEL. 045-474-1311 FAX. 045-474-2569

1. 年頭所感

新年 明けましておめでとうございます。

昨年は、9月に「セルフメディケーションフォーラム」を第53回人間ドック学会学術大会とタイアップ開催しました。そして、10月には生活習慣病薬である「エパデール」のスイッチOTC化が決定されるなど、画期的な年でありました。

また、医薬品の通信・ネット販売につきましては、業界の統一見解をまとめ、より安全で、購入困難者の利便性も重視した現薬事法の改正案については、業界内外より高い評価を受けました。

さらに、調剤ポイント問題につきましては厚生労働省のクレジットカード・電子マネー禁止の結論は年度内にすると発表から、いまだ決着がついていませんが、生活者にとっても業界にとっても保険制度にとっても、満足のゆく着地点が見出せることを期待しております。

突如起こった登録販売者試験の実務経験証明の不備・不正問題については、当協会は真摯に受け止め、「対策本部」を設置し、再発防止に乗り出しました。

これらの様々な問題があるなか、今年の主な活動方針は告げのとおりです。

1. セルフメディケーション推進の環境づくりを強力に行う

「セルフメディケーション前夜」と呼ぶにふさわしい状況下において、わが国の今後の医療を支えていく制度導入に向けて、業界をあげて全力で取り組む

- 1) 高脂血症の予防・改善薬「エパデール」の育成活動を行う
- 2) セルフメディケーションの政策提言と実現に向けた活動を行う
- 3) 改正薬事法100%遵守の維持活動を行う
- 4) 厚生労働省の地域医療実証実験に参画し、成果をあげる
- 5) 面分業調剤を推進する活動を行なう

2. ドラッグストア業界発展に向け、活動を強化する

事業発展に向け、情報提供、効率化推進、人材育成を進める

- 1) 登録販売者試験における実務経験証明マニュアルを徹底し、信頼を取り戻す
- 2) ドラッグストア業界研究レポート報告会を継続的に開催する(春・秋)
- 3) 製・配・販の協働のインフラ整備活動を普及促進していく
- 4) 専門家(薬剤師・登録販売者)の資質向上に向けた環境整備を行なう
- 5) 介護情報提供員制度をスタートする

3. 健康産業育成のための活動を強力に行う

多くの分野の理解者と連携してより良い医療の実現を目指す

- 1) 他業界、他団体との連携をさらに強化していく
- 2) 行政に対する意見具申および意見交換を積極的に実施していく
- 3) セルフメディケーション推進など、国民へのPR活動を強化する
- 4) JACDS 15周年に向けた準備を進める

今年はこれらを活動方針として、13の委員会および臨機応変なテーマに対応するためのプロジェクト活動を積極的に行なってまいります。

今、ドラッグストア業界は国民の健康維持・増進に一層の貢献をするため、大きく変わろうとしています。JACDSはこのドラッグストア業界の発展を確実かつ効率的に進めるため、さらに正・賛助両会員企業の発展に役立つ活動を強力に行なってまいります。

どうか、報道関係者並びに業界関係者の皆さまの絶大なるご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

2013年1月1日

日本チェーンドラッグストア協会
会長 関口 信行

2. 2012年の実施内容と今後の事業計画

■2012年の実施内容

- (1) 改正薬事法100%遵守活動
- (2) 第1類医薬品販売強化活動
- (3) 「医薬品のネットおよび通信販売に関する検討会」の開催と報告書の作成・発表
- (4) 調剤ポイント付与継続タスクフォース会議
- (5) セルフメディケーションフォーラムの開催(9月1日)
- (6) 登録販売者試験「実務経験証明不備・不足防止対策本部」の設置と活動
- (7) 第12回ジャパンドラッグストアショーの開催
- (8) 面分業、セルフメディケーションの推進活動(レポートの作成と、第7回セルフメディケーションアワードの実施、健康(セルメ)川柳コンクールの実施)
- (9) ドラッグストア業界研究レポート報告会(6月、11月)の実施
- (10) 流通団体有事対応連絡会
- (11) 商慣行改善活動
- (12) そらぶちキッズキャンプ支援募金活動と、キャンプ視察
- (13) 節電対応サポート
- (14) 米国最新流通業視察セミナーの開催
- (15) 「市販後調査(PMS)」への協力
- (16) EDI、カテゴリーマネジメントの普及活動
- (17) 城西大コミュニティファーマシーインターンシップの実施
- (18) 地球温暖化対策への啓発活動(CO2の削減)
- (19) その他 記者意見交換会の実施(毎月2回)など

■今後の事業計画

I 基本計画

1. セルフメディケーションの推進

改正薬事法100%遵守の維持、エパデールの育成キャンペーン、スイッチOTCの拡大、第1類医薬品の販売強化、薬剤師の職域拡大 —2015年 10兆円マーケットの実現—

2. 業界内インフラ整備

登録販売者の信頼回復、人材育成・資質の向上、効率的流通システムの普及、返品問題への取組み、有事に備えた備蓄キャンペーンの準備、有事対応マニュアルの作成

3. 豊かな社会実現に向けた建議

ドラッグストアの「街の健康ステーション構想」の提案、健康産業発展の提案、OTC医薬品医療費控除の提案、軽減税率の提案

II 具体的実施内容<各委員会の総括>

1) 改正薬事法運用への対応

- (1) 登録販売者試験における実務経験証明の不備・不正防止対策
- (2) 改正薬事法遵守率100%の維持
- (3) 医薬品のネット・通信販売問題への対応
- (4) 改正薬事法のメリット・活用法の啓発
- (5) 運用における問題点の研究と提案
- (6) 法解釈の研究と提案
- (7) 日本薬業連絡協議会での討議 など

2) セルフメディケーションの推進

- (1) エパデールの育成キャンペーンの実施
- (2) 厚生労働省の実証実験に参画(医師と薬剤師の新しい連携の研究)

- (3) 健康（セルメ）川柳コンクールの開催
 - (4) 政策提言のための委員会活動
 - (5) 生活者への告知・啓発活動
 - (6) 薬剤師の職域拡大の研究
 - (7) 市販後調査（PMS）への協力
 - (8) 第8回セルフメディケーションアワードの実施 など
- 3) 面分業の推進
- (1) 調剤ポイント付与問題の解決（平成25年3月31日まで）
 - (2) より効果的かつ効率的な医薬分業体制の推進
 - (3) 代替調剤、テクニシャン制度、リフィル処方などの研究
 - (4) 業界および一般生活者にメリットの説明と訴求
- 4) 人材育成
- (1) 登録販売者の資質向上継続研修の充実・拡大
 - (2) 薬剤師の資質向上支援（JACDS勤務薬剤師会）
 - (3) 薬学教育6年制における実務実習のあり方研究
 - (4) アドバイザー認定制度の一層の普及推進
 - (5) 介護情報提供員制度の開始
 - (6) JACDS勉強会やセミナーの実施
 - (7) 城西大学インターンシップの実施
- 5) 会員サポート事業
- (1) 有事における通信手段の確保と「有事対応マニュアル」（仮称）の作成
 - (2) 防犯対策への取り組み強化（万引き防止）の推進（緊急連絡網の整備など）
 - (3) EDIの普及推進（流通BMSの普及推進）
 - (4) 社会貢献活動（支援募金、地球温暖化対策）に関する情報提供と普及推進
 - (5) 顧問団による会員サポートの充実
 - (6) 「行き過ぎた行政指導」への対応
- 6) 行事・イベント
- (1) 第13回ジャパンドラッグストアショー
2013年3月15日（金）16日（土）17日（日）千葉・幕張メッセ
 - (2) EDI特別セミナー
 - (3) 面分業拡大に向けた特別セミナー
 - (4) 第8回セルフメディケーションアワード発表会&表彰式
 - (5) 健康（セルメ）川柳コンクールの発表会
以上、第13回ジャパンドラッグストアショー同時開催
 - (4) 各種セミナー・勉強会の開催（予定）
 - ・セルフメディケーションフォーラム～政策提言～（仮称）の開催
 - ・ドラッグストア業界研究レポート報告会の開催
 - ・米国最新流通業視察セミナー
 - ・流通システム標準化普及に向けた勉強会
 - ・JACDS会員合同勉強会
 - (5) その他
- 7) その他

3. 第12回JAPANドラッグストアショー開催概要

テーマ	セルフメディケーションで 街に元気を！ 家族に元気を！
会 期	・ 2013年3月15日（金）、16日（土）、17日（日） ・ 開催時間 10:00～17:00（3日間） ・ 3月15日、16日、17日 バイヤーズデイ ・ 3月16日、17日 一般公開日
会 場	幕張メッセ（4・5・6・7・8、ホール）
協 賛	オールジャパンドラッグ（株）、（株）ニッド・日本ドラッグチェーン
後 援	厚生労働省、経済産業省、千葉県、千葉市、中国チェーンドラッグストアチェーン、全米チェーンドラッグストア協会、米国大使館、駐日大韓民国大使館、台湾貿易センター、日本政府観光局、日本OTC医薬品協会、日本貿易振興機構、社団法人シルバーサービス振興会、財団法人日本健康・栄養食品協会、社団法人日本果汁協会、一般社団法人ペットフード協会、日本ジェネリック製薬協会、（株）プラネット（予定）
入場料	無料
来場見込	約12万人（3日間延べ人数）

見どころ

○JAPANDラッグストアショーの見どころ

（1）超高齢化社会へのドラッグストアの挑戦

アクティブシニアへの価値創造、高齢者に優しい店舗、設備、売場、商品、サービスなどの提案。

（2）セルフメディケーション推進への挑戦

セルフメディケーションを推進し予防医療を実現するための改革、専門家の資質向上を図り、新しい役割を持つ店づくりを目指すための課題提起。

（3）面分業調剤推進への挑戦

面分業調剤に本格的に参入するため、医薬分業の実態、問題などの推進環境整備に係わる提案。

（4）社会の変化とドラッグストアの進出

人口減少、マーケット減少。競争の激化などに対応する活動。また、日本の商品、日本のドラッグストアがアジアマーケットに進出するための環境整備。

韓国、中国、台湾などのアジア諸国から来場促進を図る。